

2学期終業式の言葉

今年も残すところあと10日とちょっととなりました。皆さんにとってこの1年間は、どんな年だったでしょうか。

今年の干支は「辰」。辰年でした。だから、出世するとか、竜のように舞い上がるという意味があるのです。みなさんで言うと、大きく成長するという意味になります。だから、きっといいことがあって、飛躍する年になりますよ。こんな話を今年の初めにしたと思います。

さて、皆さんは今年、大きく飛躍したことがあったでしょうか。漢字が苦手だったけどできるようになったよ、水泳が得意になったよ、お友だちが増えたよ、たくさん本を読んだ、などいろいろです。飛躍することは、人によって違っていいものです。

1年生の人たちは、小学校に入学して、まさに大きく飛躍した年でした。小学校にすっかり慣れて、一生懸命お勉強をしています。2年生は大豆の学習がんばりました。一つの学習を深めたと思います。かけ算の学習もしましたね。3年生は初めての宿泊行事「館山校外学習」に行きました。海のこと詳しくなりましたね。4年生は漢字の学習がんばりました。6年間で覚える漢字が一番多いのが4年生です。5年生は委員会活動が始まりました。学校全体のお仕事に携わるようになりました。6年生の人たちは、最高学年になって学校全体を支える立場になって視点が変わったと思います。がんばっていますよ。これらのことも、飛躍したことと言えるでしょう。

今日はぜひ、この1年間で自分が大きく飛躍したことを、ゆっくり、しかも真剣に考えてみてください。もし、一つでもあったら、自分で自分をほめてあげてください。

ここにあるうたがあります。百人一首にあるうたで、紫式部という人の作品です。

めぐりあひて 見しやそれとも わかぬ間に 雲がくれにし 夜半の月かな

久しぶりにめぐりあって、その人かどうか見わけがつかないうちに雲間に隠れてしまった夜半の月のように、あの人はあわただしく姿を隠してしまったことですよ。このような意味になります。

かつて心から親しみ合った友だちとはいえ、過ぎ去った昔を心行くまで懐かしみ合う暇もないうちに、再び別れていく。そうした思いが、流れる雲と月の景色として鮮やかに描かれています。

冬休みは、久しぶりにお会いするお友だち、親戚の方、おじい様、おばあ様が
いるかもしれません。しっかりご挨拶をして、様々なことを話したり、聞いたり
してみてください。いいお正月を迎えてください。